回覧用

東陽小だより

令和８年９月２４日　　第　７　号

美幌町立東陽小学校　文責　校長　長崎　祐紀

◆重点教育目標◆

『主体的に
学びつづける
子ども』

令和８年度 前期学校評価アンケート結果

初秋の候、保護者ならびに地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本校では、重点教育目標「主体的に学びつづける子ども」の達成および教育指導の向上・改善を目指し、７月に児童、保護者、教職員を対象とした「学校評価アンケート」を実施いたしました。

今回の報告書では、定量的な集計数値（前期は今年度 R8、後期は前年度 R7）の対比に加え、アンケートの記述欄に寄せられた児童の生き生きとした成長実感や、保護者の皆様からの極めて具体的なご意見、それらに対する学校側の対応方針までをまとめました。本評価結果を真摯に分析し、後期教育の確かな改善へとつなげてまいります。

１．児童アンケート定量集計結果（回答数：206 名）

※数値は肯定的回答（「とてもそう思う（している）」「そう思う（している）」）の合計割合（%）です。質問は実際の調査文言を使用しています。

No.	実際の質問文（児童向け調査）	R8 前期（今年）	R7 後期（昨年度）
3	思いやりと感謝の気持ちをもち、行動していますか	97.1%	95.3%
4	自分の悩みや心配事などを、先生は、聞いてくれますか	92.2%	88.8%
5	宿題や宿題以外の学習を、毎日していますか	83.5%	77.1%
6	クロムブックや電子黒板を使った授業は、わかりやすいですか	96.1%	94.4%
7	本に親しんでいますか	77.7%	69.7%
8	まわりの人や先生に、すすんで あいさつをしていますか	96.1%	90.2%
9	やさしい言葉づかいと 行動を こころがけて、まわりの人を たいせつにしていますか	97.6%	92.0%
10	授業では、黒板に書かれたことや、先生から指示されたことを、ノートに書いていますか	98.1%	96.8%
11	授業では、自分のために すすんで 学習していますか	94.2%	94.9%
12	自分の考えを文章で書くことができますか	83.0%	83.7%
13	【４年生以上】理由をはっきりさせながら、文章で説明したり、表現したりすることが、できるようになってきていますか	89.4%	90.7%

14	【４年生以上】友達との間で話し合う活動（タブレットを使うことを含む）を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができましたか	94.4%	92.1%
15	体を動かすことや 遊ぶことは 楽しいですか	95.1%	95.8%
16	体育の時間や、休み時間などに、たくさん体を、動かしていますか	92.7%	93.9%
17	学校は、楽しいですか	94.7%	89.7%

【児童調査の分析】昨年度後期に課題であった「家庭学習（問５：77.1%）」や「読書習慣（問７：69.7%）」が、今年度前期にはそれぞれ「83.5%」「77.7%」へと改善しました。これは家庭との連携、朝読書の継続が実を結んだ証です。一方、「文章記述力（問 12：83.0%）」「文章説明力（問 13：89.4%）」は相対的に低く、表現力指導のさらなる深化が必要です。

２．保護者アンケート定量集計結果（回答数：47 名）

No.	実際の質問文（児童向け調査）	R8 前期（今年）	R7 後期（昨年度）
1	学校は、思いやりと感謝の気持ちをもち、行動できるように指導している	97.9%	86.8%
2	学校は、子どもたちの悩みや問題行動について、適時適切に対応している	85.1%	84.9%
3	学校は、家庭での学習習慣の定着を図っている	93.6%	100.0%
4	学校は、ICT を効果的に活用した指導や主体的に学ぶ授業展開を工夫している	97.9%	92.5%
5	学校は、芸術や文学（読書活動含む）にふれ、感じたことを表現する取組を行っている	97.9%	92.4%
6	学校は、進んで挨拶ができるように指導している	91.5%	86.8%
7	学校は、周りの人を大切し、やさしい言動で接するように指導している	83.0%	86.8%
8	学校は、子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している	95.7%	92.5%
9	学校は、体育の時間を含め、子どもが運動や体を使った遊びに親しむ場や機会を提供している	100.0%	92.5%

【保護者調査の分析】「運動機会の提供（問９：100%）」や「ICT の活用（問４：97.8%）」等で極めて高い信頼をいただいております。また「思いやり指導（問１：97.9%）」も上昇しました。一方で、「悩みへの適時適切対応（問２：85.1%）」や「他者へのやさしい言動（問７：83.0%）」は、子ども同士の言葉遣いの課題や教職員の対応力に関する注視が自由記述にも反映されており、本校の最重要課題と位置づけ改善します。

３．教職員自己評価定量集計結果（回答数：19 名）

No.	実際の質問文（児童向け調査）	R8 前期（今年）	R7 後期（昨年度）
1	教育課程を適切に運用し、編成・実施・評価・改善を行っている	100.0%	100.0%
2	児童理解に努め、共感的・受容的な学年・学級風土づくりをしている	100.0%	100.0%
3	思いやりと感謝の気持ちをもち、行動できるように指導している	100.0%	100.0%
4	子どもたちの悩みや問題行動について、適時適切に対応している	100.0%	100.0%
5	目的意識・相手意識をもたせ、学習指導・生活指導を行っている	100.0%	100.0%
6	家庭での学習習慣の定着を図っている	100.0%	100.0%
7	ICT を効果的に活用できる指導や主体的に学ぶ授業展開を工夫している	100.0%	100.0%
8	芸術や文学（読書活動含む）にふれ、感じたことを表現する取組を行っている	100.0%	100.0%
9	進んで挨拶ができるように指導している	100.0%	100.0%
10	周りの人たちを大切にし、やさしい言動で接するように指導している	100.0%	85.7%
11	学習課題とまとめを意識した学習指導とノート指導をしている	100.0%	100.0%
12	学ぶ意欲をもたせ、継続できる授業展開を工夫している	100.0%	100.0%
13	児童は、自分の考えを文章で書くことができる	77.8%	66.7%
14	児童には、根拠を示しながら文章で説明・表現する力がついてきている	83.3%	81.0%
15	運動量のある体育授業や特別活動を行うなど、体力向上の取組をしている	94.4%	100.0%
16	『北海道アクションプラン（第３期）』の目標を理解し、個人として・組織として学校における働き方改革を実践している	100.0%	80.9%
17	義務教育９年間を見通し、幼稚園・保育園・中学校との情報交流などを通して、連携を意識した取組や指導をしている	94.4%	95.2%
18	子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している	100.0%	100.0%

【教職員調査の分析】組織として一丸となった指導、児童理解、いじめ・安全対策等に 100.0%の極めて強い自己評価を得ています。これは職員間の風通しの良さと協力体制の賜物です。一方、「文章を書く力（問 13：77.8%）」や「表現力指導（問 14：83.3%）」には自己評価に一部弱み（課題認識）があり、児童の書く力・表現力の育成に一層組織的にアプローチしていく必要性を示しています。

４．児童アンケート自由記述より「生の声」の分類と実態分析

（１）学校が楽しい理由（児童問 18：任意回答より抜粋）

◆ 友だちや先生との温かい交流：「友達に会えるし、自分自身のためになる学習をするから」「親友がいて毎日楽しく一緒に遊べる」「友達と土日以外いつも会えるのが嬉しい」「先生が面白いから授業も楽しい」「先生が優しいし、周りの人もみんな親切だから」

◆ 休み時間と大好きな遊び：「20 分休みに外で友達とサッカーをするのが最高に楽しい！」「休み時間に鬼ごっこができるから毎日やる気が出る」「ブランコや大きな鉄棒があるから」

◆ 授業や体験活動の面白さ：「プールやスケートなど、やったことのないものがたくさんできるようになるのが嬉しい」「算数とか問題が解けるとすごく嬉しい。勉強が楽しい！」「音楽や国語でみんなで読むのが楽しい」

◆ 給食への期待感：「給食がすごく美味しくて、毎日のお楽しみだから」

（２）４月からの自分の成長実感・ほめてあげたいこと（児童問 19）

◆ 学習・記述力の成長：「授業のふり返りの文章が、前は 3 行くらいだったけど、今は 10 行くらい書けるようになりました！」「長い文章をまあまあ楽しいと思って書けるようになった」「自主学習ノートをきれいに書ける」「3 年生の漢字と割り算を頑張って、テストの点数が別人のように上がった！」「算数の授業で集中して話を聞けるようになった」

◆ 体力・あくなき挑戦：「鉄棒で豚の丸焼きや逆上がりができるようになった。鉄棒のチェックリストを全クリアできて嬉しい」「100m 走で 15 秒台になって驚いた」「縄跳びや走るのが速くなった」

◆ 生活・内面の自立：「挨拶を自分から進んでできるようになった」「ダメと言われたことを絶対にしないようになった」「相手の気持ちをしっかり考えて、友達といい関係を作れるようになった」「メンタルが強くなった、失敗もちゃんと認められるようになった」

５．保護者アンケート自由記述より「子どもの成長と学校への感謝」

（１）お子さんの「できるようになったこと」「褒めてあげたいこと」（保護者問 10）

◆ 学習習慣の定着：「学校から帰ってくると、宿題だけは言われなくても真っ先に頑張ってやっている。宿題習慣が完全に身につき、非常に頼もしい」「毎日の宿題のほかにも、自発的にドリルをやるようになって親として感心している」

◆ 登校と粘り強さ：「以前は不安が強く遅刻や不登校気味だったが、今は担任の先生のおかげで、毎日何時間かでも前向きに通えるようになった」「元気に早起きして学校に行く姿自体を褒めてあげたい」「苦手なことがあっても負けずに毎日笑顔で登校しているのが素晴らしい」

◆ 挨拶と地域の絆：「家族だけでなく地域の方にも進んで挨拶ができるようになった。特に登校時

に６年生のお兄さん、お姉さんたちが積極的に息子に挨拶して声をかけてくれるおかげで、安心して学校に通えている。少人数の町だからこその素晴らしい異学年交流であり、ぜひ継続してほしい」

◆ 自己表現・行事での輝き：「人前で話すのがとても苦手な子が、運動会で選手宣誓に選ばれ一生懸命に練習して大役を果たした姿に成長を感じた。」

◆ 生活面の自律：「１人で何でも挑戦する自立心が芽生え、お風呂に１人で入ったり座ってお絵描きをしたり、１人の時間を楽しめるようになった」

６．保護者から寄せられたご意見と学校の対応方針（保護者問 11 より抜粋・集約）

保護者の皆様からのご意見・ご要望	学校の誠実な対応方針・アクション計画
【教職員の指導態度・信頼構築】 「一部の教員の児童に対する言葉遣いや、個人の価値観の押し付け、向き合う姿勢に疑問を感じる。子どもたちは先生の言葉を信じているので厳格な指導・教育が必要ではないか。また、話をよく聞き信頼関係を構築してほしい」	【学校方針：言葉遣いの自己点検と対話徹底】 教職員全員でこのご指摘を厳粛に受け止めます。個別面談や研修を通じて「児童の気持ちに寄り添った受容的・共感的な言葉遣い・指導法」について自己点検を徹底し、信頼関係の再構築に全力を注ぎます。
【猛暑対策・体操着の導入】 「北海道も夏場の暑さが厳しくなり、大量の汗をかいてエアコンで冷える等の健康懸念がある。体操着を導入するか、更衣室で着替えができるようにするなどの汗・体臭対策が必要」	【学校方針：柔軟な着替え運用の開始と検討】 体操着の導入については、保護者の経済的負担等も考慮し、現時点では検討していませんが、更衣室が使用できるよう検討します。
【昼休みの自由時間と清掃のバランス】 「できれば昼休みは、掃除の時間にするのではなく、もっと子どもたちをたくさん遊ばせてあげてほしい」	【学校方針：日課表の検討】 体力向上や自由な遊びによる社会性育成の観点を重視し、後期時間割において変更するかどうか、今後清掃との兼ね合いを含め検討していきます。
【児童へのきめ細かな声かけ】 「１人１人を見るのは大変だと思うが、１日１回でも何か声をかけてもらえると、子どもはすごく喜び安心する」	【学校方針：１日１回の前向きな声かけの徹底】 全教職員の共通行動指針として「１日１回、すべての児童に対して肯定的な承認・前向きな声かけを実践し、個々の存在を包摂する温かい環境を作ります。

７．教職員の自由記述からみる強みと課題（教職員問 19 より）

◆ 強み（温かく高い心理的安全性の職員室）：「職員室の雰囲気が素晴らしく良く、困った課題があれば一人で抱え込まずすぐに周囲の同僚・先輩に相談しチームで取り組める」「若い職員のやる気が溢れ、先輩教員がそれを温かく助言・見守る最高に働きやすい協力体制がある。この学校全体のあたたかさが、児童への安心感へと還元されている」

◆ 課題（児童の言葉遣いのきつさ）：「子どもたちの日常の言葉遣いに、時折非常にきつい表現が見られ

る。相手を大切にし、思いやりをもった言葉がけが自然にできるよう、道徳や日常場面を通じて学校全体で組織的に『言葉遣いの指導』に取り組んでいく必要がある」

８．総括：重点目標「主体的に学びつづける子ども」の達成に向けて

今回の前期アンケート結果より、本校の教育活動が多くの面で肯定的な成果を上げ、家庭学習や読書などの基本習慣が劇的に向上していることが実証されました。一方で、表現力（書く力）の育成や、一部にきつさの見られる言葉遣いの是正、そして教職員の児童への誠実な寄り添いと言葉遣いの自己点検など、後期に克服すべき極めて具体的な宿題も明確になりました。

本校教職員一同、高い心理的安全性と強固な協力体制を土台とし、保護者の皆様の声を「学校をより良くする宝」として誠実に実行に移し、子どもたちが笑顔で主体的に学び、健やかに成長できる「あたたかく信頼に満ちた東陽小学校」をともに創り上げてまいります。後期も変わらぬご支援とご協力賜りますようお願い申し上げます。

祭りの巡視活動ボランティア参加 ありがとうございました

ＰＴＡの郊外生活部が今年度よりなくなりました。美幌町夏祭り（８月９日）そしてふるさと祭り（９月４日～６日）における巡視活動はボランティアとして活動いただくことになり、以下の方が参加してくださいました。ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

美幌小・東陽小合同ブラスバンド活躍

９月５日(土)札幌コンサートホールKitaraで行われました第 71 回北海道吹奏楽コンクールに出場し、銀賞を受賞しました。また、１３日(日)には遠軽町芸術文化交流プラザにて、北見地区小学生バンドフェスティバルにも出場。見事金賞を受賞し、２７日の全道苫小牧大会への推薦をいただくことができました。皆さんよく頑張りました。お疲れさまでした。忙しい日程ですが、全道大会でも頑張ってください！

１０月の主な行事予定

１日（木）開校記念日
２日（金）学芸会舞台設営
４日（日）オホーツク中部ＰＴＡ研修会 芸文中ホール
５日（月）全代表委員会
６日（火）療育病院ＯＴ来校日
７日（水）ＳＣ来校
１２日（月）スポーツの日
１３日（火）児童観覧日前日準備
１４日（水）児童観覧日
１６日（金）学芸会前日準備
１７日（土）学芸会
１９日（月）振替休業日
２１日（水）二計測（１・２年）ＳＣ来校
２２日（木）二計測（３・４年）、児童活動日
２３日（金）二計測（５・６年）
２５日（日）就学時検診
２８日（水）ＡＮＡによる女満別空港見学（６年生）
３０日（金）全校朝会、学校教育指導訪問

